

委員会を開催せずして委員会報告をするな!!

近年、委員会によっては「これは、事前に委員会を開催して審議された内容だろうか」と思わせるものが、理・例会に「委員会報告」として、なされる事象が散見されます。委員長おひとりの意見を委員会全体の意見のようにして例会決議を計るパターンが増えているように感じます。確かにわざわざ委員会を開催しても、目新しい意見は出てこないし、結論は見えているのだけれど、それでも委員会は開催してほしいのです。「委員から委員会報告が初耳」なんて事のないよう、参加意識・帰属意識を保てるように、事前に委員会を開催してもらいたいものです。

ライオンズクラブの委員会は、会長から示された委員会への方針を委員長のリーダーシップのもと、委員会メンバー全員で実行への具体策を検討します。会長の方針を委員会全員で意見・アイデアを出し合いボトムアップで具体化し、実行に移すのが委員会の役目です。委員会のメンバーはみんなで決めた具体策を実行することにより、メンバー一人一人がクラブの存在感を認識できるものです。活発な委員会活動、委員会の開催が望まれます。

私たちのクラブは他のクラブに比べメンバー数も多く、老荘青がそろったクラブです。委員会のメンバーも老荘青で構成され、会合では年配のメンバーから色々な情報を頂くことができ、良いコミュニケーションを取って自由に意見を言い合えばメンバー同士が同じ方向性を共有することができます。会合に出席しないとこれらの機会は得られません。

委員会の会合を開催するときは、委員長は委員全員に前もって会合の案内をし、案内するときには議題と、参考資料があれば配布しておきます。委員は事前に配布された資料の内容をしっかりと読み、理解したうえで議題に対する自分の意見や提案をまとめ、十分な下調べをして会合に出席することが大切です。

LINEで一括送信が出来たり、出欠を集計するソフトがあったりと、昔に比べて連絡・集計がとてもやりやすくなっています。その分意見の交換はLINEでも可能ですが、やはり顔を突き合わせて酒を酌み交わしながらの議論は、血の通った委員会とも言えます。

今年度の会長方針では、ひとつのことを皆で努力して進めていき「絆」を深める。皆で一丸となってチャレンジし「絆」を深める。また、皆で集まれる場所を作り、時を共有して「絆」を深めていく。絆作りをしましょうと言われていています。絆作りの場所が例会であり、委員会の会合です。委員会の会合を委員長のリーダーシップのもと活発に行い委員会メンバー全員で議論し、実のある会合にしましょう!!